

◎九州総合通信局長表彰

電波の日表彰受賞者（3個人・2団体）

電波の日表彰受賞者（3個人・2団体）

岩村 英雄 様

（宮崎県電波適正利用推進員協議会会長）

長年にわたり宮崎県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引されるとともに地元での電波教室の開催や周知啓発活動に積極的に取り組むなど地域における適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

楠本 浩 様

（株式会社NTT ドコモ CS 九州ネットワーク運営推進部 運営企画 専任課長）

卓越した実行力をもって平時より国や自治体などの防災関係機関との協力体制の構築や連携強化に尽力されるとともに有事においては優れたリーダーシップを発揮し迅速な通信の復旧に多大な貢献をされました。

高木 栄次 様

（長崎県電波適正利用推進員協議会会長）

長年にわたり長崎県電波適正利用推進員協議会の会長として同協議会を牽引されるとともに地元での電波教室の開催や周知啓発活動に積極的に取り組むなど地域における適正な電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。

熊本県 様

（代表：県知事 木村 敬）

熊本地震からの十年間創造的復興を見据え災害対応の経験を活かし全国に先駆けて先進的な防災対策に取り組むとともに通信復旧の重要性を深く理解し防災訓練の充実化と発災時の的確な連携により通信の早期復旧に多大な貢献をされました。

株式会社コミュニティジャーナル 様

（代表：代表取締役社長 池田 眞由美）

佐賀市と臨時災害放送局に関する協定を締結するとともに同市等と協力して災害時に役立つ冊子の企画発行や災害に備えた取り組みを番組で紹介するなど地域社会におけるラジオの重要性や地域の防災意識の向上に多大な貢献をされました。

情報通信月間表彰受賞者（1個人・2団体）

佐藤 泰格 様

（都城市デジタル統括課副課長）

地域情報化アドバイザーとして情報システムの標準化や窓口業務の効率化などについて助言や提言を行い地域におけるデジタル・トランスフォーメーションの推進と人材育成に多大な貢献をされました。

株式会社五島テレビ 様

(代表：代表取締役 富川 吉夫)

五島市における放送の視聴環境を確保するとともに総務省補助事業を活用して同市においてケーブルテレビネットワークの光化を行うことにより情報通信の高度化を図り確実かつ安定的な情報伝達の確保に多大な貢献をされました。

福岡工業大学附属城東高等学校 様

(代表：校長 佐伯 道彦)

多年にわたり学校教育を通じ高度な専門知識と技術を備えた工事担任者の育成に精励され情報通信社会の基盤を支える優れた人材を数多く輩出し電気通信の安定的かつ健全な発展に多大な貢献をされました。

「情報通信の安心安全な利用のための標語」(学校部門)九州総合通信局長賞

日本文理大学附属高等学校 様

(代表：校長 小原 和成)

標語『その情報 本当に合ってる？ 考えて』

「情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において、熱心に取り組み優良な作品を創作されました。これにより児童生徒における情報通信の適正な利用及びデジタル社会の発展に大きく貢献をされました。

◎九州電波協力会長表彰

表彰受賞者 (2 団体)

大野城市立平野中学校 様

(代表：校長 古川 裕士)

放送の受信障害防止の意義を深く認識し「受信環境クリーン図案コンクール」に積極的に取り組み広く受信障害防止に対する知識向上に多大な貢献をされました。

熊本市立力合中学校 様

(代表：校長 福嶋 孝明)

放送の受信障害防止の意義を深く認識し「受信環境クリーン図案コンクール」に積極的に取り組み広く受信障害防止に対する知識向上に多大な貢献をされました。